2026年３月13日

各　位

会 社 名　株式会社バリューゴルフ
代表者名　代表取締役社長執行役員　水口　通夫
（コード：3931　グロース市場）
問合せ先　取締役専務執行役員　渡辺　和昭
（TEL．03 - 6435 - 1535）

2026年１月期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2025年３月14日に公表した、2026年１月期通期連結業績予想（2025年２月１日～2026年１月31日）と、本日公表の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

１．2026年１月期通期連結業績予想と実績値の差異（2025年２月１日～2026年１月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	4,500	180	160	120	60.80
実　績　値（B）	4,426	53	39	△19	△10.78
増　減　額（B－A）	△73	△126	△120	△139	－
増　減　率（%）	△1.6	△70.5	△75.5	－	－
【参考】前期連結実績（2025年１月期）	4,127	90	74	5	3.06

２．差異の理由

（１）売上高の差異について

売上高については、概ね予想通りに推移いたしました。

（２）営業利益及び経常利益の差異について

営業利益及び経常利益の差異の主たる要因は、不動産事業における収益計上の延期及び将来の収益基盤強化に向けた先行投資の実施によるものです。

不動産事業におきまして、期末までの売却完了を予定していた土地案件について、決済手続きが2027年１月期へ繰り越されることとなりました。本件は当社が利益の最大化を狙ったことによる延期であり、あくまで収益計上時期が期をまたぐことによる一過性の要因であります。当該案件による収益は、2027年１月期の業績に寄与する見込みです。

一方で、当社は当該不動産売却による利益計上を前提とし、中長期的な成長の柱となるAI開発への先行投資、および市場シェア拡大を目的とした広告宣伝活動を計画通りに実行いたしました。これらの投資により、当期においては費用が先行して発生する結果となり、利益面を圧迫する要因となりました。

（３）親会社株主に帰属する当期純利益の差異について

上記の営業利益及び経常利益の差異による影響に加え、当社が保有する投資有価証券の評価損として47,451千円を計上したことによるものです。詳しくは本日公表の『特別損失（投資有価証券の評価損）の計上に関するお知らせ』をご参照ください。

以上